

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
ECC国際外語専門学校	昭和59年2月20日	瀧山淳一	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-1-6 (電話) 06-6311-1446																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人山口学園	昭和58年11月22日	理事長 酒元英二	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6366-1440																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
文化・教養	語学ビジネス専門課程	こども教育研究学科	-	平成28年文部科学省 認定																							
学科の目的	<p>本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。そのために以下の4項目をこども教育研究学科の学科目標として掲げている。</p> <p>①こども教育業界・保育園・幼稚園での勤務のある講師・専門家による理論と実学教育を通じて、最先端の情報と技術を提供することにより、保育・幼稚園教育・小学校教育の現場が求める即戦力を伴った人材養成教育を行う。</p> <p>②授業で得た知識・技能を現場実習で実践することにより、経験力と教育力を高める。</p> <p>③英語能力を磨き、英語を使って保育・教育ができる人材となるための実用英語教育を行う。</p>																										
認定年月日	平成28年3月31日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
4年	昼間	3420	3450	150	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
97	37	0人	3	23	26人																						
学期制度	<p>■前期 4月 1日から 9月30日まで</p> <p>■後期 10月 1日から 3月31日まで</p>			成績評価	<p>■成績表: 有</p> <p>■成績評価の基準・方法 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。</p>																						
長期休み	<p>■夏期休業 8月 1日から 8月31日まで</p> <p>■冬期休業 12月20日から 1月 8日まで</p> <p>■春期休業 3月 1日から 3月31日まで</p>			卒業・進級条件	<p>【卒業の要件】卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。</p> <p>【進級の要件】進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>																						
学修支援等	<p>■クラス担任制: 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応 ・クラス担任による出欠確認 ・担任面談 ・保護者会 ・電話による対応</p>			課外活動	<p>■課外活動の種類 ・スポーツ大会 ・英語スピーチコンテスト ・夏期英語集中プログラム ・ハロウィーン ・文化祭(地球祭) ・海外語学留学(英国・韓国等) ・プレゼンテーションコンテスト ・春期就職活動プログラム</p> <p>■サークル活動: 有</p>																						
就職等の状況※2	<p>■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) キンダーキッズ、さくらインターナショナルスクール、International Bilingual Kindergarten、global child care、アサンプション国際小学校、香里ヌヴェール学院小学校、セイハネットワーク他</p> <p>■就職指導内容 こども保育就職対策(幼稚園/保育園/インターナショナルスクール受験用)、公務員試験対策、ビジネスマナー</p> <p>■卒業生数: 23 人</p> <p>■就職希望者数: 23 人</p> <p>■就職者数: 22 人</p> <p>■就職率: 95.7 %</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合: 95.7 %</p> <p>■その他 ・進学者数: 1人</p> <p>(令和 3 年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)</p>			主な学修成果(資格・検定等)※3	<p>■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校教諭1種免許</td> <td>①</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>幼稚園教諭1種免許</td> <td>①</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>保育士国家資格</td> <td>①</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>社会福祉主事任用資格</td> <td>③</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	小学校教諭1種免許	①	19	19	幼稚園教諭1種免許	①	23	23	保育士国家資格	①	23	23	社会福祉主事任用資格	③	23	23
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
小学校教諭1種免許	①	19	19																								
幼稚園教諭1種免許	①	23	23																								
保育士国家資格	①	23	23																								
社会福祉主事任用資格	③	23	23																								
中途退学の現状	<p>■中途退学者 3名 ■中退率 5%</p> <p>令和3年4月1日時点において、在学者56名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者53名(令和4年3月31日卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 意欲低下、学力不振、体調不良</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組 担任による個人面談、出席管理、保護者会(来校、TEL)実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携</p>																										
経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有</p> <p>※有の場合、制度内容を記入 ①英語試験特待による減免 ②ライセンス優遇特待による減免 ③指定大学・短大卒業による減免 ④大学・短大・専門学校卒業による減免 ⑤山口学園ご家族紹介優遇 ⑥ECC学習経験者優遇 ⑦関西外大・山口勇記念奨学生制度</p> <p>■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載</p> <p>■民間の評価機関等から第三者評価: 有</p>																										
第三者による学校評価	<p>評価団体: 一般社団法人専門職高等教育質保証機構 受審年月: 令和4年2月 評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL: <a href="https://qaphe.com/result/techgraduate/kokusaiecc/kokusaieccyear2021/">https://qaphe.com/result/techgraduate/kokusaiecc/kokusaieccyear2021/</a></p>																										
当該学科のホームページURL	<a href="https://kokusai.ecc.ac.jp/">https://kokusai.ecc.ac.jp/</a>																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会を設置し関連する企業、団体等との連携体制を強化し、授業科目やカリキュラムの更なる充実をはかる。業界に精通した協会および企業等より委員を選任し、年2回の委員会では以下の事項について協議をし、改善を積極的に実践する。

1. 授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。年二回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに、教育内容の改善を行う。
2. 企業・業界からの新たなニーズや要望を受け入れ、カリキュラムや実習・授業以外のプログラムに組み込めるかを協議し、年間カリキュラム、プログラムに反映させる。そのために、積極的に就職先企業よりモニターリングを行い、職業人として必要な要素や課題の情報収集につとめる。
3. 教職員のスキル(専門知識/技術)と指導力の向上を図るために研修体制を継続的に行うための情報共有の場とする。教職員アンケート(年2回)を実施しその情報を基に、企業研修(インターンシップ)の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。
4. 教育課程編成委員会で協議された内容を、学内カリキュラム編成委員会で検討し、次年度以降の実際のカリキュラムや学校事業に組み込み、採用できない場合はその背景をまとめ次年度以降の教育課程編成委員会で報告し了解を得る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

以下の①～⑤の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る

- ① 教務課:教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ② 進路指導課:進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ③ 第1回教育課程編成委員会:教務・進路指導の課題を受け、企業・業界の立場から改善策の協議と提案する。
- ④ 学内カリキュラム編成委員会:教育課程編成委員会での協議内容に基づき審議し実施可能か決定する。
- ⑤ 第2回教育課程編成委員会:新年度の人材育成目標、カリキュラム改善点等を報告し承認を得る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
瀧山 淳一	ECC国際外語専門学校 学校長		
大谷内 圭	ECC国際外語専門学校 副校長		
松岡 佑治	ECC国際外語専門学校 教務課		
新井 寛規	ECC国際外語専門学校 専任教員		
杉田 典彦	ECC国際外語専門学校 進路指導課		
田中 七帆子	株式会社 キンダーキッズ	2021/4/1～2023/3/31	③
守屋 美智子	社会福祉法人 都島友の会 幼保連携型認定 こども園 都島児童センター	2021/4/1～2023/3/31	①

※委員の種別の欄には、**企業等委員の場合には**、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年7月26日 12:30～15:00

第2回 令和4年2月17日 10:30～12:30

0

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ禍における留学の実施、及び大学との併修との両立についてご意見を頂き、希望選択制として実施する。デミペア留学など、より実践的な留学の導入を図っている。

コロナ禍における実習について、保護者ですら園に入れていない中で実習生が入るということで、実習2週間前からの体調チェック等、徹底した管理をするなど、実習指導系科目の内容に含めるなど対応している。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

### (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

#### 1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

- ・業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・業界での現場体験することにより、接客実戦（経験）力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。

#### 2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

- ・企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。
- ・実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

#### 3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

- ・本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
- ・カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

### (2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

提携する保育園等の施設において、コース担当、及び専任教員が実習実施に向けて実習園、施設担当者、園長・責任者等から実習の方針、方法、内容などについて研修を受ける予定である。また事前、事後のカリキュラム内容、授業内容、進行に関して助言を受ける。特に実習前において、実習にあたっての心得、姿勢など、現場の視点からの率直な指導を頂く。同時に各園、施設の最新事業についての知識を教授頂き、業界動向の更新、及びその流れに沿ったカリキュラム、指導内容へとつなげていく。

### (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
保育実習Ⅰ（施設）	提携する児童養護施設で、10日間の実習を行う。児童養護施設の事情、社会的背景等を学ぶとともに、生活をともにしながら、子ども達を指導できる力を養う。	社会福祉法人博愛社
教育実習指導（幼稚園）Ⅱ	教育実習（幼稚園）に向け、学生達が保育事情の最新知識を学び、子ども達を保育、指導できる力を身に付ける	社会福祉法人恭生会

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

#### 1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

#### 2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせる。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

### (2) 研修等の実績

#### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「ソニー幼児教育支援プログラム優秀園実践提案研究会「科学する心を育てる」～気づきのタネを子どもが育てる環境づくり～」（連携企業等：社会福祉法人照治福祉会 阿武山たつの子認定こども園）

期間：令和3年7月31日（土） 対象：教職員

内容：科学現象や環境教育につなげた実践を見学。子どもたちの疑問や発言などからの気づきをきっかけにしている点等の実践を学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「Hyper-QU 活用研修」(連携企業等: 図書文化社)  
 期間: 令和3年12月16日(木) 対象: 教職員  
 内容: Hyper-QUを活用したクラス運営方法や個別支援を学ぶ

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「保育現場におけるICT利活用と業務負担軽減について、第3回幼児教育と保育の情報化展」(連携企業等: 厚生労働省)  
 期間: 令和4年8月5日(金) 対象: 教職員  
 内容: 現在進んでいる保育現場でのICTの活用について、保育の質の向上に資する活用方法について事例を学ぶ、またICTによる業務支援を通じた業務負担軽減策について学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「教授力向上研修」(連携企業等: 佛教大学)  
 期間: 令和5年3月23日(月) 対象: 教職員  
 内容: 現学生の傾向をつかみ、それに対応する教授技術を学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。  
 (学校関係者評価)  
 第11条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会(以下「関係者委員会」という。)に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。  
 (関係者委員会の構成)  
 第12条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。  
 (1) 関連業界等関係者 2名以上 (2) 卒業生 1名 (3) 保護者または地域関係者 1名 (4) その他校長が必要と認める者1名  
 2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。  
 (関係者委員会の運営)  
 第13条 関係者委員会に委員長を置く。  
 2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。  
 3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。  
 4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。  
 5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。  
 (報酬及び費用弁償)  
 第14条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。  
 (学校関係者評価の評価結果)  
 第15条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。  
 (学校関係者評価の活用)  
 第16条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。  
 (学校関係者評価結果の報告)  
 第17条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。  
 (学校関係者評価結果の公表)  
 第18条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。  
 (その他)  
 第19条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。  
 本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1~2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の理念・目的・育人人材像は定められているか</li> <li>学校における職業教育の特色は何か</li> <li>社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</li> <li>学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</li> <li>各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</li> <li>人事、給与に関する規定等は整備されているか</li> <li>教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</li> <li>業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>

(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。</li> </ul>
(5) 学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>・保護者と適切に連携しているか</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6) 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
(7) 学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>・学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>
(8) 財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9) 法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか</li> <li>・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか</li> <li>・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況  
 学校関係者評価で浮かび上がった課題を基に、学生・指導に当たる教員・職員間の考え方をより緻密に合わせるために、教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーをより明確に設定した。また学生の自発的な学びを支援すべく、目標設定シートを学生自らが作成し、シートに基づいた面談を教員から定期的の実施し、目標に向かって能動的に取り組むことができるよう支援していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 令和4年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
西出 由佳	株式会社Kスカイ	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
塩谷 典子	株式会社TEI	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	企業等委員
中上 隆雄	済美地域社会福祉協議会	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	地域関係者
貴治 康夫		令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	高校教員
原 清治	佛教大学	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	大学教員
杉井 繭	卒業生	令和3年4月1日～令和5年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期  
 (ホームページ)  
 URL: <https://kokusai.ecc.ac.jp/>  
 公表時期: 令和4年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成25年3月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料5「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。  
 連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画 例: 学校安全・保健対策等
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・終了の認定基準等)、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3) 教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援企業・施設、業界団体等との連携によるカリキュラムの改善
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期)活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10) 国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
(11) その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法  
 (ホームページ)  
 URL: [https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self\\_evaluation/](https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/)



授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程こども教育研究学科)																	
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
1	○			(H) こども学概論 I A	少子時代に遭遇している日本の将来に不安は、国民感情のベースに危惧を触発しているのが、現代の子ども状況であるといえる。 その様な現代の子ども問題にどのように立ち向かうか。 文部科学省だけの取り組みで立ち直れるものではない。 そのベースに未来を想定した子どもの成長像の判断としたイメージづくりが問われているといえる。 この講座では、このような視点に立って、教育学部在学生在が身に付けるべくこれからの子どもの成長を向うに、日本の子どもの未来へのビジョンを考え、討議し、演習するという授業内容である。	1/前	30	2	○			○		○			
2	○			(H) 音楽 I A	教育の歴史は昔から「音楽」は人間教育に欠かせないものとして重視されています。 人の成長や発達、日常生活に影響を与え人の心を動かす大切な要素です。 幼児保育や教育において必要とされる音楽の指導技術や基礎を学びます。 必ず習得しなければいけない音楽知識、また幼児の音楽を指導し使用する上でどうしても知っておくべき指導法や音楽の基礎を習得します。 こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。	1/前	30	2	○			○			○		
3	○			(H) 教職論 I A	教員を取り巻く現代的な状況を解説した後、学校教育や教職の意義、教員養成の歴史について考究する。 さらに、教員に求められる資質能力は何かについてディスカッションを行い、各答申から解説を加える。 また、教員の役割や仕事、チーム学校への対応について、具体的な状況を提示しながら、解説する。	1/前	30	2	○			○			○		
4	○			(H) 憲法 I A	日本国憲法の特徴と全体像が理解できるような講義を行う。 日本国憲法の人権保障と統治機構に関する主要な諸規定や基本的諸事項についての分かりやすい説明を行う。 考察の対象となる憲法諸規定の解説については、可能なかぎり判例や有権解釈に触れつつ、通説的見解に基づいた解説を行う。 授業では、憲法への親しみが湧くよう、ビジュアルな要素を取り入れたパワーポイントによる授業を実施する。 毎回、授業内容についての確認テストを実施する	1/前	30	2	○			○			○		
5	○			(H) 乳児保育 I A	・乳児保育の歴史的な歩みと現代における乳児保育の現状など、乳児保育の基本的な知識を身につける。 ・3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容及安全管理、保育現場における具体的取組などの運営体制を学ぶ。 ・乳児保育の場における職員の連携・協働のあり方や保護者との連携・子育て支援の理解を深め、保育者としての人と人の関係性やその重要性を学ぶ。	1/前	30	2	○			○			○		
6	○			(H) 保育内容総論 I A	保育内容は、保育所や幼稚園、認定こども園等において保育の目標を達成するために展開される、子どもたちが取り組む活動や経験する事柄全体のことです。 養護と教育（5領域）の視点があり、これらは子どもの生活や遊びを通して相互に関連をもちながら総合的に展開されます。 授業では、保育所保育指針、幼稚園教育要領に示された保育の基本と各領域の内容を理解するとともに、保育の全体構造の理解に基づき、保育内容を総合的に学びます。	1/前	30	2	○			○			○		
7		○		English Communication Training1 (KE) I A	フィリピン人講師による1:4のセミプライベートレッスンです。 All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。 英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。 【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	##	10	○			○			○		
8		○		English Communication Training2 (KE) I A	フィリピン人講師による1:4のセミプライベートレッスンです。 All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。 英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。 【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	##	10	○			○			○		

9	○		Speak Out (KE) I A	・自身で作成したスピーチを発表し、聴衆に自分の意見を伝える力を習得する。・スピーチの型の基本を実践を通して身に付ける。・スピーチトピックは社会的なもの自身についての2種類を扱います。	1/前	30	2	○			○		○		
10	○		Weekly English Goals (KE) I A	GRIT（やり抜く力）を身に付け、英語学習に生かします。その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を邦人講師、フィリピン人講師と確認します。毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めるレッスンです。毎回語彙のテストも行い、自律した学習者になる為の習慣作りを行います。正しい発音を習得することを目標としてフォニックスも学習します。	1/前	30	2	○			○		○		
11	○		児童英語教授法 I A	4年生での英語語保実習を目標として、その基礎となる専門知識を理論的に学びます。また、英語指導法の基礎を、演習を通して体得します。	1/前	30	2	○			○		○		
12	○		造形 I A	造形活動を行う上で必要な用具、描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。	1/前	30	2	○			○		○		
13	○		(H) 教育原理 I B	教育原理は教育学の基本及び基礎的事項について包括的に学習し、包括的に深めていく科目である。また教育史に触れながら、過去の教育学の基礎を培った人物の功績、歴史的背景を踏まえながら、教育の本質に触れ、現在の教育状況を考察していく。	1/後	30	2	○			○		○		
14	○		(H) 健康科学 I B	健康に人生を送ることは、多くの人々の願いである。そのためには時代とともに変化している生活環境や日常生活習慣が、私たちの健康に大きな影響を及ぼしており、それらが相互に関係していること客観的に認識する必要がある。本講義では、健康に影響を及ぼす主要な要因（運動、栄養、休養）及び嗜好品（タバコ、飲酒）について概説する。	1/後	30	2	○			○		○		
15	○		(H) 特別支援論 I B	各障がいについてその症状と支援および障がい児支援の歴史、インクルージョン・特別な配慮を要する子どもの保育・教育を支える理念および制度について解説する。	1/後	30	2	○			○		○		
16	○		(H) 発達心理学 I B	発達の基礎理論を学びながら、受精から死を迎えるまでの発達段階と心理の変化・特徴を概説する。とくに乳幼児期から児童期の心身両面にわたる発達のプロセスやメカニズムを知って、心理的問題にどう対応していくか理解を深める。	1/後	30	2	○			○		○		
17	○		(H) 保育原理 I B	授業では、「保育」とは何かという保育の理念に始まり、保育の基本原則や保育の歴史を学びます。保育の歴史においては、保育に関する様々な思想や多様な保育施設について学びます。また、日本における保育制度の変遷を辿り、現代の保育の在り方を考えます。	1/後	30	2	○			○		○		
18		○	English Communication Training1 (KE) I B	フィリピン人講師による1:4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/後	##	10	○			○		○		
19		○	English Communication Training2 (KE) I B	フィリピン人講師による1:4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/後	##	10	○			○		○		
20	○		Speak Out (KE) I B	・自身で作成したスピーチを発表し、聴衆に自分の意見を伝える力を習得する。・スピーチの型の基本を実践を通して身に付ける。・スピーチトピックは社会的なもの自身についての2種類を扱います。	1/後	30	2	○			○		○		
21	○		Weekly English Goals (KE) I B	GRIT（やり抜く力）を身に付け、英語学習に生かします。その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を邦人講師、フィリピン人講師と確認します。毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めることを目指します。毎回語彙のテストも行い、自律した学習者になる為の習慣作りを行います。正しい発音を習得することを目標としてフォニックスも学習します。	1/後	30	2	○			○		○		
22	○		音楽 I B	人間の情緒や感受性など心の精神面を育てるには、聴覚・視覚・指先の運動などを使う音楽が重要な要素の1つです。幼児保育や教育の中で音楽を表現するために必要とされる歌唱表現・器楽表現・身体表現を学びます。また鑑賞の能力を高めていきます。実際の幼児教育の現場で役立つ音楽の基礎的な表現能力を習得します。領域「表現」の基本的知識を理解し、指導方法を学びます。	1/後	30	2	○			○		○		
23	○		児童英語教授法 I B	4年生での英語語保実習を目標として、その基礎となる専門知識を理論的に学びます。また、英語指導法の基礎を、演習を通して体得します。	1/後	30	2	○			○		○		
24	○		造形 I B	造形活動を行う上で必要な用具、描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。	1/後	30	2	○			○		○		
25		○	Business (2022) II A	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	2/前	60	4	○			○		○		





36		○	Contemporary Issues 5 / Th (2022) II A	当該科目 Contemporary Issues は、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	2/前	30	2	○			○		○
37		○	Contemporary Issues 5 / W (2022) II A	当該科目 Contemporary Issues は、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	2/前	30	2	○			○		○
38		○	Cultural Anthropology (2022) II A	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	2/前	30	2	○			○		○
39		○	Film Criticism (2022) II A	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	2/前	60	4	○			○		○
40		○	Intensive English Studies 3 / Function Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	2/前	30	2	○			○		○
41		○	Intensive English Studies 3 / Grammar Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	2/前	30	2	○			○		○
42		○	Intensive English Studies 3 / Reading & Listening (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	2/前	30	2	○			○		○
43		○	Intensive English Studies 3 / Voice (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	2/前	30	2	○			○		○
44		○	Journalism (2022) II A	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	60	4	○			○		○
45		○	TOEIC1 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/前	90	6	○			○		○
46		○	TOEIC2 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○			○		○
47		○	TOEIC3 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○			○		○
48		○	TOEIC4 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○			○		○
49		○	英検3 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/前	90	6	○			○		○
50		○	英検4 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的に実施します。	2/前	90	6	○			○		○
51		○	(H) 教育相談 II A	乳児期・幼児期・児童期・青年期の心理的発達課題、及びその段階での様々な不適応の現れ方等について概観するとともに、今日、保育・教育現場で生じている問題についての子どもへの理解と対応、および、保護者への対応についての理解を深めます。また、カウンセリングの技法を学びながら、授業を通してそれを教師としてどのように活用して教育相談を行うべきか、教師が行う教育相談のあり方や進め方について考えていきます。	2/前	30	2	○			○		○

52	○		(H) 図画工作 1_II A	図画工作Ⅰは、美術・造形の基礎・基本、表現技法のあり方、美術の専門知識などを学ぶ科目である。しかし、単なる美術・造形ではなく、幼児・児童に即した造形表現の教材を視野に入れて、子どもが楽しく造形活動ができる教材のあり方、支援の仕方、指導のあり方についても考えに入れながら、理論と実技の両面から実践的に研究をする。	2/ 前	30	2	○			○		○
53	○		(H) 特別支援 論 II_II A	1. 発達障がいおよび軽度知的障がいの幼児及び児童に対する主な療法について学び、さらに症状別の対応について学ぶ。2. 特別支援教育の教育課程における通級指導、自立活動、個別の指導計画、個別の教育支援計画を学ぶ。さらに関係機関との連携体制について学ぶ。3. 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児及び児童の学習上又は生活上の困難とその対応を学ぶ	2/ 前	30	2	○			○		○
54	○		(H) 保育者論 II A	保育の仕事は、保護者から子どもの命を預かり、その子どもの成長・発達に大きな影響を与える仕事です。それは、自分の子どもを育てるのはまた違った、専門職としての責任や幅広い知識と技術、人間性が必要となります。加えて、近年、家庭や地域での子育て力の低下が見られる中、保護者の支援や地域の子育て家庭を支援する役割など保育の仕事は多岐にわたります。この科目では、保育者の仕事の専門性、保育士として知っておくべき法制度、保護者や地域の子育て支援、研修のあり方、保育者に必要な資質と責任、保育者の担う役割について学びます。	2/ 前	30	2	○			○		○
55	○		(H) 幼児教育 課程論_II A	保育所や幼稚園、認定こども園等の集団生活をする場において、一人ひとりの子どもがそれぞれの発達にふさわしい経験を重ねていくためには、保育の羅針盤とも言える方向性を示すものが必要となる。それが保育カリキュラムである。幼児教育課程の編成は、保育の目的や目標を有効に達成するために、子どもの入所から退所までの長期的な発達の見通しを持ち、心身の発達に応じて保育内容を選択し、計画的・組織的に編成していく。この科目では、幼児教育課程の編成、展開、評価、改善までを学び、理解するとともに、子ども一人ひとりが主体的に充実	2/ 前	30	2	○			○		○
56	○		音楽 II A	人間の情緒や感受性など心の精神面を育てるには、聴覚・視覚・指先の運動などを使う音楽が重要な要素の1つです。幼児保育や教育の中で音楽を表現するために必要とされる歌唱表現・器楽表現・身体表現を学びます。また鑑賞の能力を高めていきます。実際の幼児教育の現場で役立つ音楽の基礎的な表現能力を習得します。	2/ 前	30	2	○			○		○
57	○		児童英語教授 法 II A	幼児・児童のレスンプランを学びます。デモンストレーションを徹底的に行い、卒業後すぐに児童を対象とした英会話教師として授業が持てるよう訓練します。	2/ 前	30	2	○			○		○
58	○		保育実習 I 指 導 II A	保育実習準備講座	2/ 前	30	2	○			○		○
59	○		Cultural Anthropology (2022) II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	2/ 後	30	2	○			○		○
60	○		Journalism (2 022) II B	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	2/ 後	60	4	○			○		○
61	○		TOEIC1 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/ 後	90	6	○			○		○
62	○		TOEIC2 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/ 後	90	6	○			○		○
63	○		TOEIC3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/ 後	90	6	○			○		○
64	○		英検3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	2/ 後	90	6	○			○		○
65	○		英検4 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的実施します。	2/ 後	90	6	○			○		○
66	○		(H) こどもの 食と栄養 II B	子どもの栄養と食生活は、生涯にわたる健康と生活の基礎が形成され、その後の心と身体の健康に大きな影響を及ぼす。健康な生活の基本として、食生活の意義や栄養・食品に関する基本的知識を学び、子どもの発育・発達と食生活との関連について理解を深める。食育の基本と内容及び食育のための環境と地域社会との連携について理解する。家庭や児童福祉施設における食事と栄養について学ぶ。特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。食育の演習を通して、食と栄養の理解を深め、保育・教育の場に役立つ食育の実践力を習得し、子どもや保護者	2/ 後	30	2	○			○		○
67	○		(H) こどもの 保健 II B	授業では演習を多く取り入れており、実際に体験することにより具体的に理解を深め、実践力につなげることを目的とする。内容は、子どもの発達とその評価方法、健康状態の把握、疾病の予防や感染症発生時の対応、事故防止及び安全教育、健康教育について学習する。	2/ 後	30	2	○			○		○

68	○		(H) こども家庭支援の心理学ⅡB	この授業ではこどもから成人までの心身の発達プロセスを理解し、その発達を促進する環境要因について学びます。それとともに、現代社会におけるこどもを取り巻く環境の現状や課題を理解し、こども自身やこどもの家庭に対する支援のあり方について学んでいきます。	2/後	30	2	○		○		○	
69	○		(H) 教育課程論ⅡB	小学校、幼稚園では「教育課程」は必須である。そこでこの「教育課程」の基本及び基礎的事項について学ぶ。また「教育課程」の編成論及び「指導計画」の作成についても包括的に考察し、学んでいく。	2/後	30	2	○		○		○	
70	○		(H) 臨床心理学ⅡB	本講義では、臨床心理学の成り立ち、代表的な理論、こころの病とそのアセスメント、主な心理療法について学ぶ。それらをふまえて、子どもの教育に携わる者としてどうあるべきかについて理解を深める。	2/後	30	2	○		○		○	
71	○		キャリアデザイン(KE)ⅡB	こども業界就職活動に向け、業界研究や現場の実情などについて学びます。	2/後	30	2	○		○		○	
72	○		こどもと福祉ⅡB	保育士資格や幼稚園免許取得に必要な科目について学びます。	2/後	30	2	○		○		○	
73	○		音楽ⅡB	こどもたちが音楽表現の楽しさに気づき、生活へ与える潤いと鑑賞能力を伸ばすことについて学びます。	2/後	30	2	○		○		○	
74	○		教育実習指導(幼稚園)Ⅱ	教育実習(幼稚園)準備講座	2/後	30	2	○		○		○	○
75	○		児童英語教授法ⅡB	幼児・児童のレッスンプランを学びます。デモンストレーションを徹底的に行い、卒業後すぐに児童を対象とした英会話教師として授業が持てるよう訓練します。	2/後	30	2	○		○		○	
76	○		造形ⅡB	造形活動を行う上で必要な用具、描き作るために必要な絵画や図工の知識や技能を習得します。	2/後	30	2	○		○		○	
77	○		保育実習Ⅱ/Ⅲ指導ⅡB	保育実習準備講座	2/後	30	2	○		○		○	
78		○	Business(2022)ⅡA	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	3/前	60	4	○		○		○	
79		○	Contemporary Issues 3 / M (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	
80		○	Contemporary Issues 3 / T (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	
81		○	Contemporary Issues 3 / Th (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	
82		○	Contemporary Issues 3 / W (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	
83		○	Contemporary Issues 4 / M (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	
84		○	Contemporary Issues 4 / T (2022)ⅡA	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○		○		○	

85			Contemporary Issues 4 / Th (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
86			Contemporary Issues 4 / W (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
87			Contemporary Issues 5 / M (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
88			Contemporary Issues 5 / T (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
89			Contemporary Issues 5 / Th (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
90			Contemporary Issues 5 / W (2022) II A	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/前	30	2	○			○			○
91			Film Criticism (2022) II A	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	3/前	60	4	○			○			○
92			Intensive English Studies 3 / Function Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	3/前	30	2	○			○			○
93			Intensive English Studies 3 / Grammar Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	3/前	30	2	○			○			○
94			Intensive English Studies 3 / Reading & Listening (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	3/前	30	2	○			○			○

95	○		Intensive English Studies 3 / Voice (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	3/前	30	2	○		○		○
96	○		(H) 教育方法論ⅢA	この授業では、これからの社会を担う子供たちに求められる資質・能力をどのように学校教育において育成するのかを考察することが目的である。そのために、これまでの教育方法の変遷を踏まえ、新たな授業構成や授業展開及び情報機器を含めた教材の活用方法について基礎的理論を理解する。また、それらを授業においてどのように資質・能力の育成に結びつけていくのかを実践的に考察する。	3/前	30	2	○		○		○
97	○		(H) 国語 I_Ⅲ A	本講義は、幼児・児童のこたばの発達を助けたり、小学校の国語科の指導を行ったりするための基礎知識を学ぶとともに、国語への意識を高めることを目的とする。小学校での国語教育を念頭に置き、4つの柱である「聞く」「話す」「読む」「書く」に関する課題をアクティブにこなしつつ、自己の国語力を確認し整理しながら、新たな創作ができる技術を学ぶ。言語表現の実際を体験して相互理解を図る。	3/前	30	2	○		○		○
98	○		(H) 算数ⅢA	この授業では、小学校算数科という教科の特性を知り、主要な単元に関する教材研究を通して、指導にあたっての指針を明確にできるようにすることを目的とする。そのためには、まず、小学校算数科における5領域の主要な学習内容をピックアップし、その内容の理解及び指導のポイントを確認することから概説する。その上で、実際に教材研究を行い、その発表等を通して算数科の指導内容に対する理解を深めるとともに、教材研究の方法を理解できるようにするものである。	3/前	30	2	○		○		○
99	○		(H) 社会ⅢA	社会科教育の基盤から、方法原理、評価の理論、授業作り、学習指導方法といった理論的な側面について、演習的要素を取り入れながら学んでいきます。	3/前	30	2	○		○		○
100	○		(H) 生徒指導・進路指導ⅢA	本授業は、「生徒指導の意義と原理」「すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方」「児童生徒の抱える生徒指導上の課題」「養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方」などを取り扱う。児童生徒全体への指導では、チームによる支援、学校種間や学校間の連携の重要性について理解を図る学修にする。進路指導では、学校で学ぶことと社会との接続を踏まえ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育む進路指導・キャリア教育を学ぶ。	3/前	30	2	○		○		○
101	○		(H) 道徳教育論ⅢA	我が国の道徳教育論の歩みを概観し、今日の学校教育における「道徳」がどのように生まれ たかを顧みる。また、学校における道徳の時間の運用について事例を踏まえて検討する。	3/前	30	2	○		○		○
102	○		(H) 保育の心理学ⅢA	主に0～6歳の子どもの運動・認知・社会性・基本的な生活習慣などの発達の道筋について確認する。さらに発達に遅れや偏りのある子どもの特徴について学習を進める。また、保育にまつわる事例を通してその子どもおよび保護者にどう支援すればよいか、事例を通して自ら考える力を養う。	3/前	30	2	○		○		○
103	○		(H) 理科ⅢA	小学校理科の内容をエネルギー(物理)、粒子(化学)、生命(生物)、地球(地学)にわけ、それぞれの実験、観察、飼育・栽培などの基礎的知識および技能を身につける。さらに、実験や観察の結果を考察することで、自然を愛する心情を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方、問題解決の能力を養う。 また、理科の概念把握には命題、ストリング、知的技能、運動技能、イメージ、エピソード、メタ認知の7つの要素の重要性を認識し、これらの要素を考慮に入れて教材開発する姿勢を身につける	3/前	30	2	○		○		○
104	○		一般教養(KE)ⅢA	SPI、教員採用試験、公務員試験を突破するために、必要な知識・教養を修得します。	3/前	30	2	○		○		○
105	○		教育実習指導(幼稚園)Ⅲ	教育実習(幼稚園)に向け必要な知識や技術を学ぶための準備授業	3/前	30	2	○		○		○
106	○		児童英語教授法ⅢA	4年生での英語保育実習を目標として、幼児・児童のレッスンプランを作成し、演習を通して幼児・児童を対象としたレッスンを行う指導法の習得を目指します。	3/前	30	2	○		○		○
107	○		Both Sides of the Issues (2022) II B	This class is intended to develop students' critical thinking skills and ability to express their opinions in a more complex and nuanced way.	3/後	60	4	○		○		○
108	○		Business (2022) II B	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	3/後	60	4	○		○		○





119		○	Contemporary Issues 5 / Th (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/後	30	2	○			○		○
120		○	Contemporary Issues 5 / W (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	3/後	30	2	○			○		○
121		○	Cultural Anthropology (2022) II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	3/後	30	2	○			○		○
122		○	Design Your Own Adventure (2022) II B	To offer students an opportunity to plan a vacation or an adventure. This is an activity which brings together a wide variety of reading skills, critical thinking and research skills in a practical and far-reaching project.	3/後	30	2	○			○		○
123		○	Film Criticism (2022) II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	3/後	60	4	○			○		○
124		○	Journalism (2022) II B	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	3/後	60	4	○			○		○
125		○	TOEIC1 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	3/後	90	6	○			○		○
126		○	TOEIC2 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	3/後	90	6	○			○		○
127		○	TOEIC3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	3/後	90	6	○			○		○
128		○	Translation (2022) II B	This is intended to be an introduction to non-simultaneous translation. It is intending to build grammar, vocabulary and fluency skills in English, and increase overall speed of processing language.	3/後	30	2	○			○		○
129		○	英検3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	3/後	90	6	○			○		○
130		○	英検4 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的を実施します。	3/後	90	6	○			○		○
131		○	Business Communication (KE) III B	ビジネスに特化したスキルを磨くためのオンライン英会話	3/後	60	4	○			○		○
132		○	Culture Roulette III B	This class is designed to provide the cultural learning component of the study abroad experience.	3/後	30	2	○			○		○
133		○	Daily English & Online 英会	Native講師作成の150の日常フレーズを1年をかけて覚えていき、本当の英会話ができるように学習していきます。	3/後	30	2	○			○		○
134		○	General English III B	短期留学前後に行う英語授業と、4年次に参加するインターナショナルスクールでのインターンシップの準備授業です。	3/後	60	4	○			○		○
135		○	World in Focus B	この授業では、学生はオンライン会議システムを用いて、様々なテーマについて海外の大学生と共同で学習を進めます。	3/後	30	2	○			○		○
136		○	インターンシップ事前・事後指導 III B	次年度実施予定のインターンシップを想定し(1)インターンシップの目的、(2)英語保育業界の現状、(3)英語保育の現場で求められる知識とスキル、(4)ビジネススキルとスマナーの基本について学ぶ。	3/後	30	2	○			○		○
137		○	キャリアデザイン (KE) III B	経済をテーマに社会の動きを知り、教育業界の位置づけや存在意義を考える。	3/後	30	2	○			○		○
138		○	児童英語教授法(幼) III B	インターナショナルスクールでの英語保育実習に向けて指導力の向上を目指します。	3/後	30	2	○			○		○
139		○	短期留学単位 III B	海外への短期留学を通して英語力の向上、また多文化への理解を深めます。	3/後	##	26	○			○		○
140		○	Business (2022) II A	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	4/前	60	4	○			○		○



151			○	Contemporary Issues 5 / Th (2022) II A	当該科目 Contemporary Issues は、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skill を段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/前	30	2	○			○		○	
152			○	Contemporary Issues 5 / W (2022) II A	当該科目 Contemporary Issues は、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skill を段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/前	30	2	○			○		○	
153			○	Cultural Anthropology (2022) II A	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	4/前	30	2	○			○		○	
154			○	Film Criticism (2022) II A	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	4/前	60	4	○			○		○	
155			○	Intensive English Studies 3 / Function Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	4/前	30	2	○			○		○	
156			○	Intensive English Studies 3 / Grammar Focus (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	4/前	30	2	○			○		○	
157			○	Intensive English Studies 3 / Reading & Listening (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	4/前	30	2	○			○		○	
158			○	Intensive English Studies 3 / Voice (2022) II A	当該科目は、週4回 (Discussion Focus, Reading Focus, Writing Focus, Voice) 1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。この授業では、その週に学んだテーマに派生するトピックについて、自身の見解や意見を伝えるために1分間のスピーチを学生一人ひとりが行います。同時並行で一人ひとりのスピーチに関する聴解問題にも取り組みます。	4/前	30	2	○			○		○	
159			○	Journalism (2022) II A	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	4/前	60	4	○			○		○	
160			○	TOEIC1 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	4/前	90	6	○			○		○	
161			○	TOEIC2 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/前	90	6	○			○		○	
162			○	TOEIC3 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/前	90	6	○			○		○	
163			○	TOEIC4 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/前	90	6	○			○		○	
164			○	英検3 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/前	90	6	○			○		○	
165			○	英検4 (2022) II A	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的実施します。	4/前	90	6	○			○		○	
166			○	(H) 地域ボランティア IVA	この科目は、地域の学童保育や社会福祉活動などのボランティア活動を通して地域貢献と学生の質的向上に成果をあげることが目的として、実社会のなかでどのように人間関係を作り上げていけばいいのかということを実践的に学んでいくものです。実習科目ですので、学内での授業(事前事後学修)と、学外でのボランティア活動とで構成されます。	4/前	30	2	○			○		○	

167	○		インターンシップ事前・事後指導ⅣA	インターンシップを実施する際に不可欠な(1)インターンシップの目的、(2)英語保育業界の現状、(3)英語保育の現場で求められる知識とスキル、(4)ビジネス上のスキルとスマナーについて学ぶ。また集団・個人への指導を通し、これまでに学んだ知識やスキルをインターンシップの本番や将来の教育現場で実践できる力を養成する。	4/前	30	2	○		○		○	
168	○		キャリアデザイン(KE)ⅣA	面接やグループディスカッション対策を中心に内定獲得へ向けた実践形式的授業を展開します。	4/前	30	2	○		○		○	
169	○		グループディスカッションⅣA	毎回の授業で、論理的思考法とコミュニケーション技法を学び、グループディスカッションを実践する。	4/前	30	2	○		○		○	
170	○		パソコン演習Office総合Ⅳ	Word・PowerPointの基本操作を習得し、実務に必要なPCスキルを身につける。	4/前	30	2	○		○		○	
171	○		プレゼンテーション&speechⅣA	プレゼンテーションとスピーチについて学びます。	4/前	30	2	○		○		○	
172	○		ホスピタリティⅣA	保育者にとって必要とされるホスピタリティを学びます。	4/前	30	2	○		○		○	
173	○		児童英語教授法ⅣA	児童英語教育の集大成としての保育園・幼稚園での英語保育実習に向けて指導力の向上を目指します。	4/前	30	2	○		○		○	
174		○	Both Sides of the Issues(2022)ⅡB	This class is intended to develop students' critical thinking skills and ability to express their opinions in a more complex and nuanced way.	4/後	60	4	○		○		○	
175		○	Business(2022)ⅡB	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	4/後	60	4	○		○		○	
176		○	Contemporary Issues 1 / M(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	
177		○	Contemporary Issues 1 / T(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	
178		○	Contemporary Issues 1 / Th(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	
179		○	Contemporary Issues 1 / W(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	
180		○	Contemporary Issues 4 / M(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	
181		○	Contemporary Issues 4 / T(2022)ⅡB	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○		○		○	

182			Contemporary Issues 4 / Th (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
183			Contemporary Issues 4 / W (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
184			Contemporary Issues 5 / M (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
185			Contemporary Issues 5 / T (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
186			Contemporary Issues 5 / Th (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
187			Contemporary Issues 5 / W (2022) II B	当該科目Contemporary Issuesは、週4回で1テーマ完結型の授業を展開していきます。基本的に授業は全て英語で行われます。National Geographicの最新のコンテンツ(写真・動画)を通して、世界の人々や場所に触れ、学習した内容と自分の生活とを関連づけることで様々な事柄に興味と関心を持ち、Critical Thinking Skillを段階的に養いながら、見聞を広め、自分自身の意見を持ち、それを他者と共有することを学びます。	4/後	30	2	○			○			○
188			Cultural Anthropology (2022) II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	4/後	30	2	○			○			○
189			Design Your Own Adventure (2022) II B	To offer students an opportunity to plan a vacation or an adventure. This is an activity which brings together a wide variety of reading skills, critical thinking and research skills in a practical and far-reaching project.	4/後	30	2	○			○			○
190			Film Criticism (2022) II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	4/後	60	4	○			○			○
191			Journalism (2022) II B	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	4/後	60	4	○			○			○
192			TOEIC1 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/後	90	6	○			○			○
193			TOEIC2 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/後	90	6	○			○			○
194			TOEIC3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/後	90	6	○			○			○
195			Translation (2022) II B	This is intended to be an introduction to non-simultaneous translation. It is intending to build grammar, vocabulary and fluency skills in English, and increase overall speed of processing language.	4/後	30	2	○			○			○
196			英検3 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。	4/後	90	6	○			○			○
197			英検4 (2022) II B	問題の解き方、時間配分などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラスです。単語テストも定期的実施します。	4/後	90	6	○			○			○



198	○	(H)教職実践演習(幼・小・中・高)IVB	本授業科目は教職課程の他の授業科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて、学生が身に付けた資質能力が、教員として最低限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されたかを最終的に確認するものである。本科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを目的とする。	4/後	30	2	○			○		○	
199	○	World in Focus B	この授業では、学生はオンライン会議システムを用いて、様々なテーマについて海外の大学生と共同で学習を進めます。	4/後	30	2	○			○		○	
200	○	パソコン演習Office総合IV	Word・Excel・PowerPointの基本操作を習得し、さらに応用スキルを身につけ実務に活かせるようにする。	4/後	30	2	○			○		○	
201	○	ビジネスマナーIVB	内定者を対象とした授業。実際に仕事を始めても困らないよう最低限必要なビジネスマナーを学びます。	4/後	30	2	○			○		○	
202	○	プログラミング基礎(KE)IV	プログラミング的思考の基礎を学び、教育現場で子ども達に指導出来るよう知識を身に付ける。	4/後	30	2	○			○		○	
203	○	ホスピタリティIVB	保育者にとって必要とされるホスピタリティを学びます。	4/後	30	2	○			○		○	
204	○	卒業模擬レッスンIVB	4年間で習得した「児童英語教授法」を用い、実際に子どもたちにレッスンをを行います。	4/後	60	4	○			○		○	
合計				科目	3600単位時間(							240単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業に必要な総時間数は3420時間・228単位		1学年の学期区分	前 後
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。